

施策番号	0403		
施策名	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ		
概要	自主的に取り組む地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップを確立するため、京都市が新たなしくみづくりや支援機能の強化を図る。		
担当局・部室	文化市民局・地域自治推進室	共管局・部室	
上位政策	4 市民生活とコミュニティ		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市地域コミュニティ活性化推進計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている 学区数(学区)	c	c	75	77	95	81.1%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	c	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		平成 29年度	平成 30年度	令和元年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	町内会、自治会などの地域の組織の主 体的な活動と、それに対する行政の支 援とがうまくかみ合っている。	c	c	30	150	273	115	80	648
				4.6%	23.1%	42.1%	17.7%	12.3%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	c	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 地域コミュニティは共同体意識を基礎とすることから、その協力体制も実感されることに意義があるため、市民の実感に重みを置く。						平成30年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・まちづくりアドバイザーが新たに支援を開始した学区はある(17学区)ものの、これまで複数年にわたって支援を行っていた学区の活動が軌道に乗り、支援が不要となった学区もある(15学区)ため。						平成29年度	C
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・自治会や町内会を対象に実施したアンケートにおいて、「地域コミュニティサポートセンター」の認知度や問い合わせは増加しているものの、まだ存在を知らない方も多く、同センターの各種取組が効果的に活用されていない、といった課題を把握している。このような課題を背景に、「町内会、自治会などの地域の組織の主体的な活動とそれに対する行政の支援とがうまくかみ合っている。」といった設問に対する評価が低くなっていると考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		令和元年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		平成30年度決算額	令和元年度予算額		
1	【北区】区民提案型支援事業	21,230	21,255	かなり良い	区役所
2	【北区】共汗型事業	41,637	50,830	良い	区役所
3	【上京区】区民提案型支援事業	12,896	12,427	かなり良い	区役所
4	【上京区】共汗型事業	91,317	97,069	普通	区役所
5	【左京区】区民提案型支援事業	16,177	15,684	良い	区役所
6	【左京区】共汗型事業	75,693	98,875	良い	区役所
7	【中京区】区民提案型支援事業	8,987	9,412	普通	区役所
8	【中京区】共汗型事業	45,046	48,172	良い	区役所
9	【東山区】区民提案型支援事業	17,652	20,459	かなり良い	区役所
10	【東山区】共汗型事業	28,712	36,863	普通	区役所
11	【山科区】区民提案型支援事業	17,234	20,920	かなり良い	区役所
12	【山科区】共汗型事業	55,819	67,124	良い	区役所
13	【下京区】区民提案型支援事業	15,207	16,742	普通	区役所
14	【下京区】共汗型事業	29,684	34,373	かなり良い	区役所
15	【南区】区民提案型支援事業	8,011	9,983	良い	区役所
16	【南区】共汗型事業	55,896	56,249	良い	区役所
17	【右京区】区民提案型支援事業	14,059	16,745	普通	区役所
18	【右京区】共汗型事業	90,604	103,951	良い	区役所
19	【伏見区・深草支所・醍醐支所】区民提案型支援事業	34,747	35,244	かなり良い	区役所
20	【伏見区・深草支所・醍醐支所】共汗型事業	146,573	158,522	良い	区役所
21	【西京区・洛西支所】区民提案型支援事業	14,410	14,316	かなり良い	区役所
22	【西京区・洛西支所】共汗型事業	138,324	145,138	普通	区役所

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・「京都市における自治会・町内会の加入促進に関する協定」に基づき、住宅事業者による新たな転入者を対象とした学区情報の提供や自治会加入啓発を実施する。また、学区内で活動する各種団体等の連携を強化し、地域課題の解決や自治会加入促進等に取り組む「地域力アップ学区活動連携支援事業」を実施する。

・平成31年4月に創設した「転入者地域交流支援制度」により、マンション新築や戸建住宅の宅地開発の際に、早い段階から地域と事業者との間で協議を行い、転入者の自治会・町内会加入を促す。

・引き続き、区役所・支所、まちづくりアドバイザー及び地域コミュニティサポートセンター等が地域と連携し、自治会・町内会への支援を行い、地域コミュニティの更なる活性化を図る。

・これまでの取組について、地域コミュニティ活性化推進審議会等の場で総括を行い、今後、これらの取組が地域で効果的に活用されるように検討し、令和2年度に策定予定である次期計画に反映していく。

施策名	0403	地域コミュニティと京都市との新しいパートナーシップ				
指標名	まちづくりアドバイザーが活動支援を行っている学区数(学区)					
担当課	地域自治推進室		連絡先	2 2 2 - 3 0 4 9		
1 指標の説明						
地域コミュニティの自主的な活動に対し、まちづくりアドバイザーが支援を行っている学区数						
2 指標の意味						
住民が主体的に課題に取り組むまちづくりに向けて、地域組織と京都市の共汗によるまちづくりの進捗状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：まちづくりアドバイザーへの調査						
4 数値						
	前回数値 平成29年	最新数値 平成30年	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	75	77	2学区増	95	平成22年度の現況値が47学区であり、平成23～令和2年度に110学区（年6学区増）にすることを目標とする。	81.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		110学区	令和2年度	70.0%	平成23年度から令和2年度に年6学区増	
5 評価基準						
目標値に対する割合が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
目標値をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成29	平成30	令和元				
C	C	C				